

土着カブリダニ保護体系を実施するりんご園地での リンゴワタムシ防除対策

【1 成果の概要】

- (1) 前年の秋にリンゴワタムシの発生がみられた園地では、落花期（または落花10日後）から7月にかけて効果の高い薬剤を2回以上散布すると秋期の発生を抑制できます（表1）。
- (2) 9月以降にリンゴワタムシが発生した場合は、トランスフォームフロアブルまたはダントツ水溶剤を散布してください（図1）。



図 果実(左)、新梢(右)に寄生したリンゴワタムシ

表1 落花期及び7月のリンゴワタムシに対する防除効果（令和2年）

ワタムシに効果にある薬剤の 散布時期及び使用薬剤	新梢 被害率%	果叢 被害率%
落花期：ダズバンDF 7月上旬：ダイアジノン水和剤	0.0	0.0
落花10日後：トランスフォームフロアブル 7月上旬：ダイアジノン水和剤	0.0	0.0
落花10日後：トランスフォームフロアブル	8.3	15.6
選択性殺虫剤のみ使用（土着カブリダニ保護体系）	7.7	19.4

表1 試験概要

- ・試験場所：農研センター内ほ場
- ・調査日：10月16日

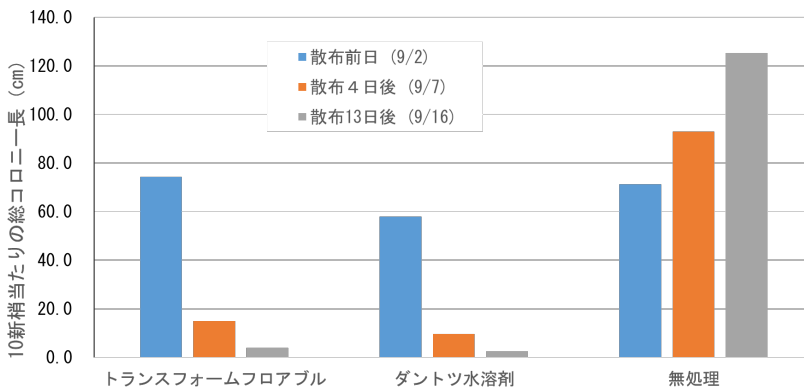


図1 試験概要

- ・試験場所：農研センター内ほ場
- ・リンゴワタムシのコロニー（集団で生息するワタムシの体表面から出る綿状のもの塊）がみられる新梢の全てのコロニー長およびコロニー数を計測した。
- ・散布日：令和2年9月3日。
- ・数値は3反復の平均

図1 9月以降のリンゴワタムシ発生時の防除効果

【2 留意事項】

- (1) リンゴワタムシの寄生は、薬剤のかかりづらい主幹から発生した徒長枝や主幹付近の剪定痕等に多いため、薬剤が幹まで到達しやすい樹形づくりを心がけてください。
- (2) リンゴワタムシの天敵であるワタムシヤドリコバチは、合成ピレスロイド剤に弱いいため、使用した際にはリンゴワタムシの発生状況に注意してください。
- (3) リンゴワタムシに効果のある薬剤は、ミツバチ等訪花昆虫に影響のある剤が多いため、下草に花がある場合は、花を除去する程度の草刈をしてから散布してください。
- (4) トランスフォームフロアブル、ダントツ水溶剤は、カブリダニ類に対する影響が少ない薬剤です。